

標準委員会 システム安全専門部会 シビアアクシデントマネジメント分科会
第15回シビアアクシデント マネジメント分科会議事録

1. 日 時 2013年3月18日 (月) 9:30～12:00
2. 場 所 仏教伝道会館 7階 見の間
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 岡本主査, 杉山副主査, 鎌田幹事, 阿部委員, 松本(精)(井田委員代理), 内田委員, 及川委員, 織田委員, 倉本委員, 黒岩委員, 柴本委員, 鈴木委員, 竹越委員, 廣川委員, 増田委員, 松本(和)(桶永委員代理)
(16名)
(常時参加者) 河井, 黒田, 森本, 宮川, 窪小谷
(9名)
(オブザーバ) 武部, 池田, 泉, 川西
(4名)

4. 配付資料

- S2SC15-1 第14回議事録(案)
- S2SC15-2 人事について
- S2SC15-3-1 第21回システム安全専門部会の議事録
- S2SC15-3-2 第21回システム安全専門部会のコメント対応資料
- S2SC15-3-3 第21回システム安全専門部会向けプレゼン資料
- S2SC15-4 SAM実施基準 (案) (本文, 附属書及び解説の改訂版)
- S2SC15-5 シビアアクシデントマネジメント分科会のスケジュール (案)

参考資料

- 参考-1 第14回シビアアクシデントマネジメント分科会議事メモ (案)
- 参考-2 シビアアクシデントマネジメント分科会 委員及び常時参加者
- 参考-3 第14回SAM分科会のコメント対応資料
- 参考-4 原子力学会 春の大会SAM報告原稿 (案)

5. 議事内容

議事に先立ち, 開始時点で委員 20名中 16名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 前回議事録確認 (S2SC15-1)

鎌田幹事より、S2SC15-1「第14回議事録(案)」を用いて、第14回分科会の内容について確認が行われた。確認の結果特にコメントは無く、議事録は正式に承認された。

(2) 人事について (S2SC15-2)

鎌田幹事より、原子力規制委員会原子力規制庁が発足したことに伴い、旧原子力安全・保安院に所属していた委員の扱いは標準委員長預かりとなっていたが、標準委員会から3/18付けで全員退任とするとの通達が来たので、当分科会の秋本委員も正式に退任となったことが報告された。

(3) 第21回システム安全専門部会の報告 (S2SC10-3-1,-2,-3)

鎌田幹事より、第21回システム安全専門部会への報告結果が紹介された。各委員からのコメントについては、S2SC15-3-2にて紹介され、特に関村部会長からマネジメントクラス設定の必要性、活用に向けた有効性について書き込むようにコメントが出された。また、4/12の臨時システム安全専門部会がSAM実施基準の最終報告とすることが決められた。

(4) SAM実施基準案の審議 (S2SC15-4)

a. マネジメントクラスの審議

織田委員より、SAM実施基準案のマネジメントクラスに関連する第7.4章及び第8.1章(本文、附属書)について前回の審議等を反映し変更した内容について説明があった。主要な議事を以下に示す。

- ・7章にてマネジメントクラスを位置付け、7.1節で附属書8Aを読み込む。7.4節で、7.4.1項がマネジメントクラスの定義、7.4.2項がマネジメントクラスの適用とする。そしてa項とb項を入れ替える。8章については、ハード主体として8.1節が実施方針、8.2節が考慮する事項とする。
- ・附属書7Gの「具体的にクラス分類を定義する場合には」の前に、尚書きでマネジメントクラスのデメリットについても追加記載する。
- ・附属書7Gの「Graded Approach)」の引用文献はIAEAの複数の上位標準から参照する。
- ・附属書8A 8A.1の「なお、AM策において、教育・訓練……」は削除。「なお、AM策において設備はあくまでマネジメントをサポートし、マネジメントを確実に行うための手段である。」旨に修正する。
- ・附属書8A.2-5に「柔軟な対策を考慮してハードウェアを準備する。」を追記する。

b. 他の変更に関する審議

織田委員，及川委員，黒岩委員及び鎌田幹事より，S2SC15-3-2「第 21 回システム安全専門部会のコメント対応資料」及び参考-3「第 14 回 SAM 分科会のコメント対応資料」に基づき，本文，附属書について変更した内容の説明があった。

- ・まえがきの，「しかし，2013 年 1 月に提示された原子力規制庁・・・重視しています。」の文章を削除し，ソフト重視での記載となるように文章を修正する。
- ・次回の分科会まで時間がないため，それ以外のコメントは 3/25 までに連絡する。

c. その他

鎌田幹事より，分科会のスケジュール及び春の原子力学会での報告原稿について説明があった。

以上